

修学旅行  
について  
考えました。

公認心理師/社会福祉士  
発行者 堀川重敏  
放課後等デイサービス/児童発達支援

# ふたたび宿題のこと

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com

第15巻 第18号



前(17)号に引き続き「宿題」について  
書かせていただきます。

☆5

学校での授業が、工場制手工場的な一斉  
**学習作業**になるのは、一クラスの人数を考  
えると仕方ないことです。

それが日清戦争を機に、世界に負けない  
製品を大量生産するために、職人を一か所  
に集めて同じ設備と材料を与えた頃の手法  
であり、さらには地方の労働力を集めて働  
かせるため全国の学校に取り入れられたや  
り方のようです。

★6

さて、伊万里・大河内山で風鈴まつりが  
始まりました。

有田も伊万里も世界的な焼き物の町です。  
たくさんの窯元と製陶工場があって、芸術  
品から日用雑貨まで、さまざまなものも焼  
ています。

友人のひとりが有田の窯元ですが、彼が  
創るコーヒーカップは一個五千、六千円で  
す。手作りの製品はこれくらいの値段で、  
量産品の中には数百円で売られるものもあ  
ります。カップとしては、どちらも同じ性  
能です。

☆7

少子化が進む中、労働力が足りず、技能  
修習制度によって非常に多くのアジア人が  
働いてくれています。

彼らは作業や仕事に必要な日本語を話し  
ながら、自分たちの文化を守って、日本人  
の代わりに働き、技能とお金を持って帰国  
して行きます。

★8

近い将来、現在の仕事の半分以上はロボ  
ットとAIにとって代わられ、新しい仕事  
が考え出されている時代に、基本的には明  
治時代と同じ性能を求められています。

学校で学ぶ内容は社会に出て働くために  
必要な内容です。

学びたくてサッカー、バスケット、ダン  
ス、スケボーあるいはプログラミングを習  
っている子どもたちが居ます。

もしかすると宿題をする時間が、このよ  
うな子どもたちの力を伸ばすための時間  
を奪っているかも知れません。



一連のイラストはTOMOさんという方からお借りしています。